

JR浜松駅前南口に 「コンテナ型の受動喫煙防止喫煙所」設置の怪!! 懲りない社会対応

加藤一晴 政令指定都市浜松の健康政策を支援する会・代表理事
こどもをタバコから守る会・代表

はじめに

2022年に実施された浜松市喫煙率は9・7%、また市内飲食店禁煙率は72%です。これは浜松市民の90%以上が、タバコと無縁の生活を送っている証拠でしょう。

2023年の厚生労働省の国民喫煙率が15・7%なので、浜松市民に喫煙・受動喫煙の健康被害が、いかに

に図抜けた理解が及んでいるかが分かります。また、浜松市としてもホームページに受動喫煙防止対策に関する情報を掲示しており、全市を挙げた喫煙対策がなされています。

浜松マナー灰皿設置

2006年10月に、JR浜松駅南北にも浜松マナー灰皿が設置されました。設置50日目には吸い殻以外も遺棄され、景観美化からも酷いものでした。それらは市民活動など様々な手法を駆使して撤去されました。

管轄する浜松市役所健康増進課にも様々な意見が寄せられたそうです。このように公共の場での喫煙行為が規制されると、市民喫煙率も低下していき

ました。加えて、浜松市政の断続的な喫煙防止の取り組みを、市民ひとりひとりが真摯に受け止めていきました。

ドル箱と称されたJR東海道新幹線の喫煙ルームも 利用者も 激減で利用中止になっていますが、これも時代の流れでしょうか？



喫煙率が低い政令市であるJR浜松駅前南口広場（写真）に2300万円の設置費用を掛け「コンテナ型受動喫煙防止喫煙所」という名の喫煙所を望む市民はほとんどいない。



2025 世界禁煙デー 記念イベント in EXPO

「世界禁煙デー」（5月31日）および「禁煙週間」（5月31日～6月6日）の取り組みの一環として、「世界禁煙デー記念イベント」を開催します。

「世界禁煙デー」は、世界保健機関が、「たばこを吸わないことが一般的な社会習慣になること」を目指し1989年に制定したものです。厚生労働省は1992年から、世界禁煙デーから始まる一週間を「禁煙週間」とし、たばこの健康影響等の普及啓発の強化に取り組んでいます。

コンテナ型喫煙所設置の怪

ところがここに来て、不可解な動きが見られています。JR浜松駅南口の主要同線から避けた市の所有地に、「コンテナ型の受動喫煙防止喫煙所」設置の計画があると言うのです。

実際、浜松市にはタバコ税収が50億円ほど見込まれ、直接的規制には慎重ですが、喫煙市民の要望に耳を傾けた格好のようです。

全国の喫煙所メンテナンス（維持・補修・手入）は、寄贈はタバコ産業によってなされ、維持管理は市職員が行いますので、清掃職員も受動喫煙被害は避けられません。

これは健康都市を自認する政令指定都市浜松として看過できない問題です。さらに、改正健康増進法では、喫煙所の施設管理者は当該地区首長になっているので、コンテナ内で喫煙関連疾患が発生した場合に、責任問題に発展することはないのでしょうか。また地方自治法第242条第1項による「住民監査請求」がなされた場

合、喫煙所委設置の蓋然性で不利になる懸念もあります。

高騰する喫煙関連医療費

厚生労働省の研究によると、喫煙による医療費は、受動喫煙も含めて1兆688億円と推計されています。また、喫煙に関連する病気の人が利用する介護費用は2617億円、タバコが原因の火災関連費用975億円、タバコ関連の清掃費用16億円と見込まれ、合計すると約2兆500億円が喫煙によって損失したと推計されています。

例えばタバコ税が50億円あったとしても、喫煙者の健康被害の上に立脚したものであることに変わりありません。喫煙行為は市民に悪影響を及ぼしますが、喫煙所の存在は喫煙者の健康を損ねます。

浜松市も不転転の覚悟をもって、種々の対策を講じ喫煙者救済にシフトチェンジせねばなりません。併せてタバコ小売店への転業保障・支援も必要です。

国政の場で「対決より解決」が話題になっていますが、他の諸問題と同じくらいに、駅前喫煙所設置は重要な課題です

おわりに

昨年、日本高血圧学会はJSH 2024禁煙宣言で、2019年の我が国における喫煙による死者数は、21万2000人と報告しました。何と、これは政令市浜松市民人口が、4年以内に消滅する人数に匹敵します。

浜松市は、政令市中3期連続（2013年、2015年、2018年）で健康寿命がトップでした。最新の調査では、タバコを1本吸うことに寿命は20分短縮の報告もあり、健康寿命のさらなる延伸を期す浜松市政としても、駅前に提示された喫煙所設置には異を唱えて欲しいものです。

喫煙所の設置業者も、この建物がお世辞にも浜松の市民生活に役立たないのは、重々承知でしょう。設置費用2300万円と撤去費用は無駄な支出と指摘されるかも知れません。

喫煙率の低い政令市駅前に設置予定のコンテナ型喫煙所の利用者は、他の市町に比較してかなり少ないでしょう。その意味で、既に「喫煙所撤去のカウントダウン」が始まっているのかも知れません。

参考文献

- 1) https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kenkozoshin/health/health_21_2024/b05.html
- 2) <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/odpf/opendatav1.html?m=index&x=kinenten&t=N>
- 3) <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000469083.pdf>
- 4) 喫煙と健康（喫煙の健康影響に関する検討会報告書、平成28年）
- 5) <https://www.jpns.jp/antismoking.html>
- 6) <https://news.yahoo.co.jp/articles/ad381d3599e6662dbdec7bcd248a45c7b>